

## 平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

### 【1. 施策名】

施策コード	022-01	基本施策	中山間地域の振興	所管部局	地域振興部
施策名	中山間地域の魅力の向上			主担当課	市民活動支援課
				関係部局課	農業政策課、企画課
施策の目標	中山間地域の自然や環境などをいかした独自の魅力づくりや、都市部との交流活動などにより、中山間地域の魅力の向上を目指します。				

### 【2. 施策に取り組む理由】

<p>施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など</p> <p>地域住民が自ら行う特色のある地域活動や、地域課題の掘り起こし、課題解決に向けた取組みを支援するとともに、中山間地域の互助機能向上に向けた地域住民の取組みを支援する。 また、中山間地域の魅力の向上を図るため、農業体験や民泊を伴う修学旅行の受入れなど、地域住民が主体となる都市農村交流の取組みを積極的に推進する。</p>
---

### 【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
中山間地域の農業体験への年間参加者数	人	32,041	35,239	32,087	/	/	/	38,000
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
中山間地域の都市農村活動参加者の延べ人数	地域の現状および取組み状況を勘案して目標値を設定							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実績					目標値 (H28)
民泊を伴う修学旅行生の受入れ地区数	地区	6	7	7	/	/	/	10
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
民泊を伴う修学旅行生の受入れた地区の数（年次）	地域の現状および取組み状況を勘案して目標値を設定							
25年度の取組内容実績	保科地区と信州新町地区で組織を立ち上げる準備が進められており、地域資源を有効に活用したメニューづくり及び旅行会社との連絡調整のノウハウの提案を行い、受け入れがスムーズに進むようにした。							

### 【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	概ね順調
評価の理由・説明等	
<b>適応性</b> 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	中山間地域の現状や課題について、集落点検調査を実施するなど各地区の状況把握に努めている。各地区の状況を的確に捉えた上で、中山間地域の課題解決や魅力の向上に向けて、行政として必要な支援を行っている。
<b>達成度</b> 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	「農業体験交流」や「農家民泊」は、中山間地域の活性化や魅力の発信に大きな役割を果たしている。（農業体験参加者数：32,087人 農家民泊受け入れ地区：7地区 受け入れ人数5,906人）
<b>事業の成果等</b> 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	「農業体験交流」及び「農家民泊」事業の目標は概ね達成されている。

【5. 今後の展開】

課題	課題解決に向けた具体的な取組
1 農業体験や農家民泊は、受入れ農家の高齢化や受入能力に限界があり、受入れできないケースも出てきているため、新たな担い手の確保と組織の強化が課題である。	農業公社を事務局とする「長野市子ども夢学校受入協議会」と連携しながら、早期に保科地区及び信州新町地区の受け入れを可能にし、更に受け入れ地区を増やしていく。
2 やまざと支援交付金の活用により、公益作業を実施するなど互助機能の維持が図られているが、今後、交付金を活用したくても人がいなくて作業自体ができない地区も想定される。	やまざと支援交付金については、中山間地域を含む13地区に一律に180万円を交付している。地区の面積・人口等を加味して算定してほしいとの要望を踏まえ今後、行政としてどこまで中山間地域の集落を支援していくのか方向性を見出す必要がある。
施策展開の方向性 (H26年度以降)	都市部の住民と農村の交流は、中山間地域の活性化を図るために有効であり、農業体験や農家民泊など、実施地区が広がりつつあるため、今後も継続して実施地区を支援していく。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
1	都市農村交流推進事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 農業政策課	都市住民の農業体験や農家民泊を受入れる団体を組織化する。さらに受入れを行うために必要な経費の補助及び受入れ組織が主体的な活動が出来るよう交流活動の核となる人材の育成への補助を行う。					農業体験参加者数：32,087人 農家民泊受け入れ地区：7地区（受け入れ人数 5,906人）				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	B	B	B	継続	4,555	5,639	4,640	5,188
2	中山間地域支援事業 [サービス提供事業] 市民活動支援課	住民自治協議会との協働により、中山間地域における集落維持・集落支援など、各地域の特性に応じた具体的な支援活動を行う。					・やまざと振興計画の推進 ・集落点検活動の実施 ・やまざと支援交付金の交付 (1地区180万円×13地区)				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	B	B	A	継続	56,660	59,412	60,647	36,415
3	過疎地域自立促進基金積立金 [補助金・金銭給付事業] 企画課	過疎地域の住民が将来にわたり安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、過疎地域自立促進特別事業における過疎債を財源として基金を造成し、計画期間終了後（平成28年度以降）に取り崩して過疎地域の自立促進に向けた事業を実施する。					【対象地区】 戸隠、鬼無里、大岡、信州新町及び中条 【積立期間（予定）】平成22年～27年 【平成25年度末基金残高】696,937千円				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	A	A	継続	172,338	179,994	161,606	150,723
4	やまざとビジネス支援補助金 [補助金・金銭給付事業] 市民活動支援課	中山間地域において地域資源を活用し、地域の活性化につながることを目的として、地域内外の企業や団体から提案される事業に要する経費について補助金を交付するもの。					【平成25年度】 ・応募事業者 16件 ・採択事業者 2件 件 【平成26年度】 ・応募事業者 14件 ・採択事業者 3件				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	B	B	B	継続			23,154	31,171

